

# 海外消費関連日本株ファンド

<愛称:クール・ジャパン>

追加型投信／国内／株式

## 受益者の皆さまへ

毎々格別のお引き立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

さて、ご投資いただいております「海外消費関連日本株ファンド」は、2019年5月27日に第6期決算を行いました。

当ファンドは、わが国の金融商品取引所上場株式（上場予定を含みます。）を主要投資対象として、海外市場での消費の高度化や訪日外国人の消費拡大で収益の増加が期待される企業の株式に投資を行い、値上がり益の獲得を目指して運用を行います。当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2018年5月26日～2019年5月27日

第6期	決算日：2019年5月27日	
第6期末 (2019年5月27日)	基準価額	20,016円
	純資産総額	4,767百万円
第6期	騰落率	△ 10.6%
	分配金合計	130円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

## ■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

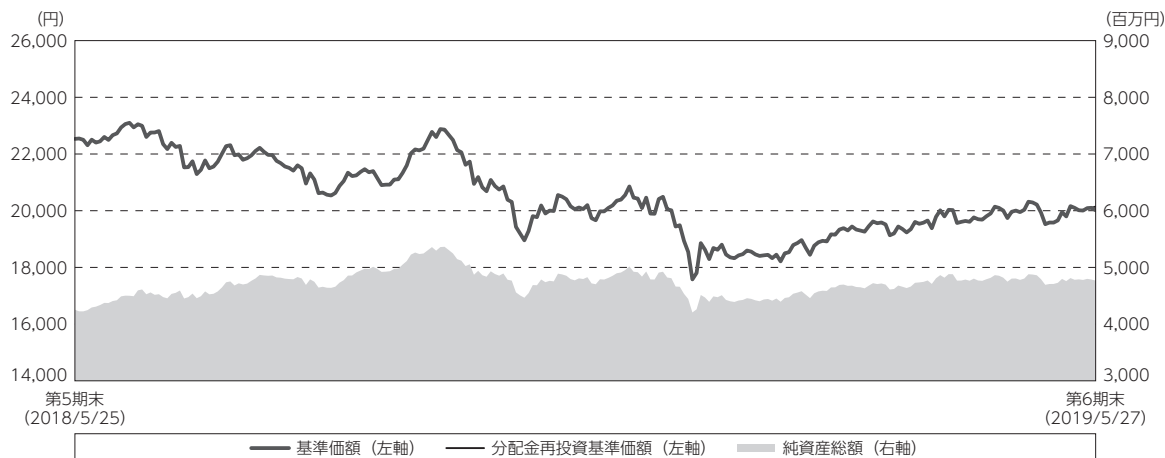
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

## 運用経過の説明

### 基準価額等の推移（2018年5月26日～2019年5月27日）



期 首：22,533円

期 末：20,016円 (既払分配金:130円)

騰落率：△ 10.6% (分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。

(注4) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示してあります。

(注5) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

### 基準価額の主な変動要因

当ファンドはわが国の株式へ投資することで投資信託財産の成長を目標に運用を行います。主として、日本独自の製品・サービスを海外市場に展開して収益を拡大している企業や訪日外国人による消費拡大の恩恵を受ける企業を中心に投資を行います。

当期におきましては、国内株式市場の下落を受けた保有銘柄の値下がり等により、当ファンドの基準価額は前期末との比較で下落しました。業種では、情報・通信業、陸運業などの上昇がプラス寄与となる一方、その他製品、電気機器、化学などがマイナス寄与となりました。個別銘柄では、ファーストリテイリング、ラクト・ジャパン、ファイバーゲート、和心などの株価が上昇し、基準価額のプラスに寄与しました。一方、河合楽器製作所、ヤーマン、SOU、イオンファンタジーなどの株価が下落し、基準価額にマイナスに作用しました。

## 1 万口当たりの費用明細 (2018年5月26日～2019年5月27日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
	円	%	
(a) 信託報酬 (投信会社)	326 (157)	1.575 (0.760)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(157)	(0.760)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	( 11)	(0.054)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	39	0.189	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株 式)	( 39)	(0.189)	
(c) その他費用 (監査費用)	0 ( 0)	0.002 (0.002)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	365	1.766	
期中の平均基準価額は、20,680円です。			

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

## 最近5年間の基準価額等の推移 (2014年5月26日～2019年5月27日)



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2014年5月26日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2014年5月26日 決算日	2015年5月25日 決算日	2016年5月25日 決算日	2017年5月25日 決算日	2018年5月25日 決算日	2019年5月27日 決算日
基準価額 (円)	10,647	15,897	14,888	16,506	22,533	20,016
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	130	130	130	130	130
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	50.5	△ 5.5	11.7	37.3	△ 10.6
参考指数の騰落率 (%)	—	38.9	△ 19.1	17.5	12.2	△ 12.7
純資産総額 (百万円)	3,439	3,258	2,740	2,501	4,253	4,767

(注1) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示してあります。

(注2) 純資産総額の単位未満は切り捨てて表示してあります。

(注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

(注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。参考指数は東証株価指数 (TOPIX) です。参考指数については後掲の<当ファンドの参考指数について>をご参照ください。

参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しているものです。

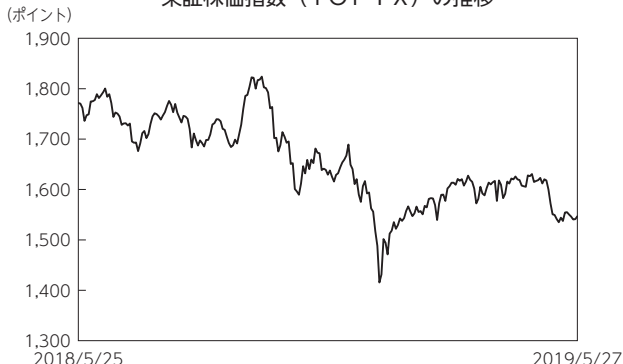
## ■ 投資環境 (2018年5月26日～2019年5月27日)

### 国内株式市場

国内株式市場は、期首から夏頃にかけては堅調な推移となりました。米中貿易交渉の事態を見守る展開となったものの、堅調な企業業績や為替の円安傾向などから、株式市場は安定した動きとなりました。夏以降は、米国株式市場の上昇は続きましたが、国内株式市場は米中貿易摩擦による国内企業へのマイナス影響が懸念され、一進一退の動きとなりました。

2018年10月に入ると、米国の長期金利上昇や中国景気の失速懸念を受けて株価は下落しました。貿易相手国の景気減速を受けて、国内企業の業績が悪化するとの見方が強まり、国内株式市場は年末にかけて急落しました。しかしながら、年が明けると、F R B (米国連邦準備制度理事会) 議長の利上げ停止を示唆する発言等を受けて株式市場は反転上昇し、急落前の水準に回復しましたが、その後、米中貿易摩擦の再燃を受けて、期末にかけては軟調な展開となりました。期末のT O P I X (東証株価指数) は1,547.00ポイントとなりました (期中騰落率 $\Delta$ 12.7%)。

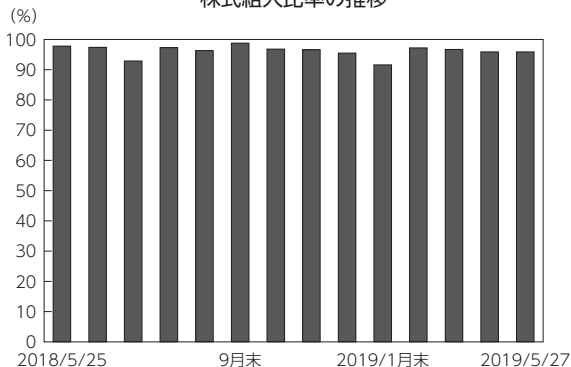
東証株価指数 (T O P I X) の推移



## ■ ポートフォリオについて (2018年5月26日～2019年5月27日)

銘柄選定にあたっては、業績動向や財務内容の分析に加え、株式の時価総額や流動性なども勘案してポートフォリオを構築しました。相対的に、健全なバランスシートおよび短期的な景気循環の影響を受けにくいディフェンシブな収益体質を有する銘柄を中核に据え、利益成長の継続性を重視した中長期投資の観点で運用を行いました。期中の売買は、メルカリ、東宝、コーセー、シップヘルスケアホールディングス、カクコムなどの買い付けを行う一方、ニトリホールディングス、ファンケル、ピジョン、良品計画などの売却を行いました。

株式組入比率の推移

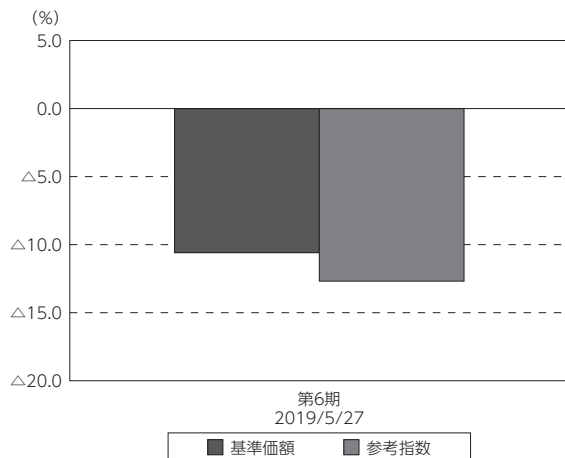


※比率は、純資産総額に対する割合。

## ■ ベンチマークとの差異について（2018年5月26日～2019年5月27日）

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。  
 グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

【基準価額と参考指数の対比（騰落率）】



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

## ■ 分配金（2018年5月26日～2019年5月27日）

収益分配金につきましては基準価額水準・市況動向等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### ■ 分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項目	第6期
	2018年5月26日～ 2019年5月27日
当期分配金	130
(対基準価額比率)	0.645%
当期の収益	—
当期の収益以外	130
翌期繰越分配対象額	10,016

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金」(税込み)の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金」(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益(含、評価益)」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

## 今後の運用方針

### 基本スタンス

わが国の金融商品取引所上場株式(上場予定を含みます。)を主要投資対象として、独自の高付加価値商品・サービスが海外市場や訪日外国人に受け入れられることで収益を拡大している企業の株式に投資を行い、値上がり利益の獲得を目指します。株式の組入比率は、原則として高位とします。

### 相場想定

2019年の世界経済の成長ペースは鈍化する可能性が高く、株式市場に大きな追い風は吹きにくいという前提のもとで運用を行う方針です。技術覇権を巡る争いに発展した米中貿易摩擦は長期化する可能性が高く、世界経済へのマイナス影響も今後は本格化してくると思われれます。実態経済の成長スピードがスローダウンする中、各国の金融政策が株式市場に与える影響度は高まるでしょう。米国を中心に機動的な金融政策が実施されることで資金が流動化し、株式市場が下支えされる展開も想定されます。

こうした相場想定の下、当ファンドのテーマに沿った銘柄選定を行い、値上がり利益の獲得を目指して運用する方針です。世界経済の成長率が鈍化する中でも、アジアを中心とした諸国の消費拡大は継続する公算が高く、日本製品・サービスへの需要拡大は続くと考えています。新しい海外からのニーズを捉え、銘柄選定を行ってまいります。

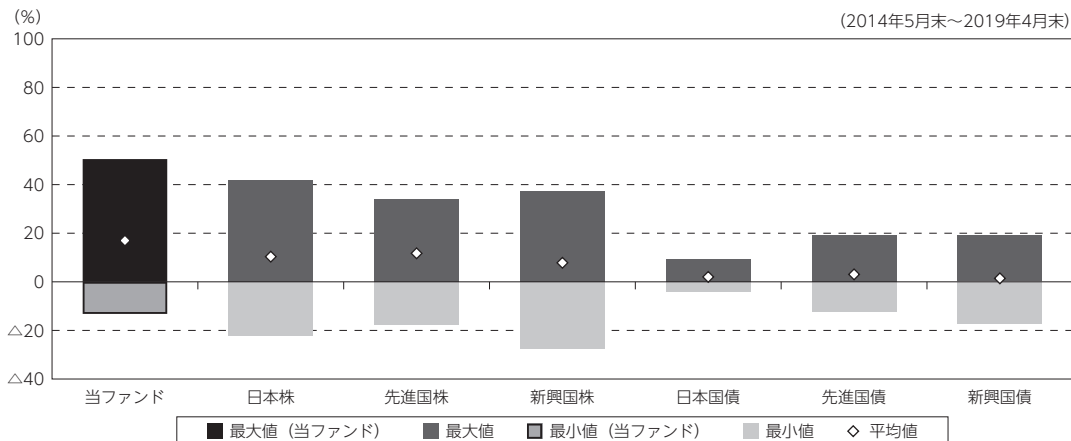
ファンドマネージャー 松岡 珠美

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／国内／株式
信託期間	2013年5月31日から2023年5月25日（当初2018年5月25日）までです。
運用方針	主としてわが国の株式へ投資をすることにより、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	わが国の金融商品取引所上場株式（上場予定を含みます。）を主要投資対象とします。
運用方法	わが国の金融商品取引所上場株式（上場予定を含みます。）を主要投資対象として、海外市場での消費の高度化や訪日外国人の消費拡大で収益の増加が期待される企業の株式に投資を行い、値上がり益の獲得を目指して運用を行います。銘柄選定にあたっては、業績動向や財務内容の分析に加え、株式の時価総額や流動性なども勘案してポートフォリオを構築します。
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託者が基準価額水準や市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。



## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	50.5	41.9	34.1	37.2	9.3	19.3	19.3
最小値	△ 13.2	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4
平均値	17.0	10.4	11.7	7.8	2.0	3.1	1.4

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2014年5月から2019年4月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

### \*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>をご参照ください。

### 各資産クラスの騰落率について

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに、株式会社野村総合研究所が計算しております。株式会社野村総合研究所及び各指数のデータソースは、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、株式会社野村総合研究所及び各指数のデータソースは、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

## 当ファンドのデータ

### 当ファンドの組入資産の内容（2019年5月27日現在）

#### ◆組入上位10銘柄

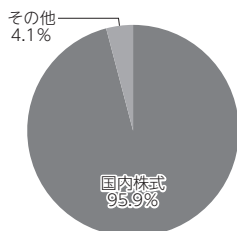
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	東宝	情報・通信業	円	日本	4.0
2	グローブライド	その他製品	円	日本	3.6
3	スシローグローバルホールディングス	小売業	円	日本	3.5
4	ファーストリテイリング	小売業	円	日本	3.5
5	ラクト・ジャパン	卸売業	円	日本	3.3
6	資生堂	化学	円	日本	3.1
7	オリエンタルランド	サービス業	円	日本	3.1
8	ハウス食品グループ本社	食料品	円	日本	2.9
9	ベルトラ	サービス業	円	日本	2.5
10	シップヘルスケアホールディングス	卸売業	円	日本	2.5
組入銘柄数			52銘柄		

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

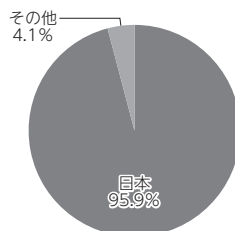
(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載してあります。

(注3) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示してあります。

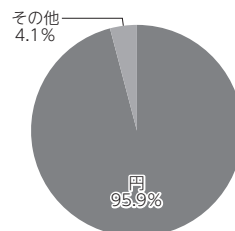
#### ◆資産別配分



#### ◆国別配分



#### ◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示してあります。

(注3) その他は、純資産総額から有価証券等を差し引いた数字です。

(注4) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示してあります。なお、合計は、四捨五入の関係で合わない場合があります。

### 純資産等

項目	第6期末
	2019年5月27日
純資産総額	4,767,607,295円
受益権総口数	2,381,876,028口
1万円当たり基準価額	20,016円

(注) 当期中における追加設定元本額は1,039,328,512円、同解約元本額は545,093,872円です。

## <当ファンドの参考指数について>

### ●東証株価指数（TOPIX）

東証株価指数（TOPIX）は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての銘柄の時価総額を指数化し、株価の変動をとらえようとするものです。東証株価指数は、1968年1月4日（基準時）の時価総額を100として1969年7月1日から株式会社東京証券取引所（以下「㈱東京証券取引所」といいます。）が算出・公表しています。

東証株価指数（TOPIX）は、㈱東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよびTOPIXの商標に関するすべての権利は、㈱東京証券取引所が有しています。

なお、本商品は、㈱東京証券取引所により提供、保証または販売されるものではなく、㈱東京証券取引所は、ファンドの発行または売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

## <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、㈱東京証券取引所が有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

